

「勇気づけのピアノレッスン」 No.22

＝自分への『勇気づけ』をしていますか？＝

あなたは、自分と人を比べて落ち込んだというような経験はありませんか？私は音大生の頃、友人の上手な演奏を聴いて、自分のレベルの低さに落ち込んだり、どうしてこんなに練習しているのにうまく弾けないのかと、親を恨んだり、自分の才能のなさを人や環境のせいにしていました。前回は書いた通り、私には華やかな経歴もなければ、生徒がコンクールで大きな賞を受賞したということもありません。かつてはそれをコンプレックスに感じていたことも、正直言えばあります。

でも、そもそも芸術は比較するものではないはず。コンクールで良い賞を取ることを目指すのは決して悪いことではありませんし、結果を出すために努力することが悪いとも思いません。むしろ、目指すものがあって、それに向かう姿勢は本当に価値あることと考えます。けれども、それに振り回される必要はないのではないかとも思うのです。生徒さんたちのピアノを上達させることは、私たち指

導者の使命です。コンクールが生徒さんや指導者、保護者の励みになるのであればそれは素晴らしいこと。ですが、コンクールは一つの基準や目安にすぎません。その評価がすべてではない、と今では自信を持って言うことができます。すべての生徒がコンクールに出る必要もありませんし、まして指導者である私たちが「うちの教室には優秀な生徒がいない」などと嘆く必要はどこにもないということです。この通信を読んでくださるあなたは、既に多くの勉強をされていらっしゃると思います。ですから、そういうことに気を取られず、堂々と胸を張り自信を持って、生徒さんの指導に取り組んでいただきたいのです。アドラーは「劣等感」について、こう語っています。「劣等感を抱くこと自体は不健全ではない。劣等感をどう扱うかが問われているのだ。」つまり人は誰でも、劣等感をバネに成長することができる、と教えてくれているのです。

松井美香

「勇気づけの音楽家」東京音楽大学ピアノ専攻卒業。学研「愛のピアノレッスン」にて手記を執筆。
 <HP>松井美香ピアノ教室 <http://matsuiimika-piano.net>
 <ブログ>ピアノの先生のためのモチベーションアップ術 <http://ameblo.jp/makeeachangewithlove>
 *無料メルマガ好評配信中 (ご登録はブログにてお知らせしています)

学研 おんがく通信

Gakken

株式会社学研プラス 音楽事業室
〒141-8415 東京都品川区西五反田2-11-8 TEL: 03-6431-1220

Web版も
あるよ！
バックナンバーが
閲覧できる！
♪ウェブならではの
情報が満載！

12月号

2015
年
11月
25日

学研 おんがく.net
<http://www.gakken.jp/ongaku/>
 電子書籍ストア 学研BookBeyond
<http://bookbeyond.jp/>
 twitter @gakken_music
 Facebook gakken.music

来年度の干支は「申」。12年前の「申」の時は部活一筋、年末ギリギリまで練習をしていたと思います。あの頃は体育の先生になるのが夢だったので、この職業に就くとは思っていませんでした。ピアノの経験が(少しですが)あってよかったです。(お)

おすすめ! クラシックのクリスマス曲 2015

～ヘンデル作曲《メサイア》を聴いてみましょう～

もうすぐクリスマス! クリスマスの音楽を耳にすると、心がわくわくしてきませんか? 今回は、昨年ご紹介した「くるみ割り人形」とともにクリスマスに欠かせない音楽のひとつ、オラトリオ《メサイア(救世主)》に注目してみようと思います。

この曲は、ドイツ生まれでイギリスに帰化した作曲家ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル(1685～1759)の作品で、ヘンデルの最高傑作とされています。《メサイア》というタイトルがピンとこない方…、「ハレルヤ・コーラス」はご存知ですね。華やかな「ハレルヤ・コーラス」は、《メサイア》の中の1曲です。

●「メサイア」ってどんな曲?

「メサイア」とは、「神から選ばれた支配者」「悩める者の解放者」＝「救世主」を意味する、ヘブライ語「メシア」の英語読みです。

- 第1部 イエス・キリストの降誕の預言とその成就
- 第2部 キリストの受難と贖罪
- 第3部 復活と永遠の生命

このような3部構成で、救世主キリストの一生を事実のままに描いただけではなく、全人類の救世主としてキリストの存在を強く訴えかける…という内容が表現されています。

●なぜ、クリスマスに演奏されるの?

初演は1742年4月(ダブリン)、再演は1743年3月(ロンドン)に行われました。再演を重ねるうちに演奏が大規模に、そして華やかになっていったことから、祝福・祭りというニュアンスが重要視されていったため、いつの間にか、キリスト生誕を祝福するクリスマスの時期に演奏されるようになったそうです。また、ロンドンのチャリティー・イベントの一環で、ヘンデル自身も児童養護施設のためにこの時期に演奏していたことから、世界各地で演奏される習慣となりました。

圧倒的な音量と重厚なハーモニーで、身も心も奮い立つ…そんな曲ですね。これからクリスマスや年末にかけて、《メサイア》を耳にする機会も増えてくることと思いますので、このエピソードを思い浮かべながら聴いてみると、また少し違った印象が得られるかもしれません。今年の冬もたくさんのクリスマス・コンサートやイベントが予定されていますので、ぜひおでかけください。楽しいクリスマスをお過ごしくださいね♪(の)

●●● 作品情報 ●●●

演奏時間: およそ2時間半
 楽譜頁数: 本人直筆譜は259ページ(!)
 →音符ではなく暗号で記された部分もあるとか…
 作曲期間: 1741年8月22日～9月14日
 →なんと24日間の超短期間!

「オラトリオ」とは? バロック音楽を代表する楽曲形式のひとつ。聖書などの宗教的な題材によって描かれた曲で、独唱・合唱・管弦楽を用いて作曲したものです。ヘンデルやハイドン、メンデルスゾーンがオラトリオを残しています。日本語では「聖詠曲」と呼ばれます。



CD-ROM
付き

for Windows & Mac OS

「こんなイラストが欲しかった!!」

お客様の声にお応えして…

さまざまなテーマのイラストを収録!

楽器のイラストや作曲家の似顔絵も!

Windows&Mac OS 両方に対応しました!

既刊の『ピアノの先生のためのイラスト集』シリーズと合わせてお使いいただけます!

系属集部のつづきですー!

「断捨離」をはじめました。
必要かどうが見極める…むむむむ。(お)

Tsubuyaitter.....

twitter [@gakken_music](https://twitter.com/gakken_music) 日々のよしなしごとや最新情報をツイートしています!

ピアノの森から

田丸信明先生のすてきなオリジナル曲をご紹介します

第19回

前回から「新訂 ピアノの森」第1巻～第3巻の巻末に新たに収録された《連弾の曲》を1曲ずつくわしくご紹介しています♪ 第2回目の今回は「山の音楽家」(第1巻収録)。子どもたちにおなじみのメロディーが、シンプルでかわいらしい連弾曲に変身! 生徒さんパートも先生パートも、まったく無理なく弾けるレベルでアレンジされています。耳になじんでいる曲ですから、曲の楽しさをそのまま生かしながら、ノリで一気に弾けてしまいそう! 連弾がますます楽しめます。(か)

今月のあかね先生

「丸子あかね先生ってどんなひと？」

～あかね先生とピアノのおはなし その④～



【ゆ】「先生は高校時代、マーチングバンドで全国大会に出場したり、ディズニーランドで演奏したりと、青春を謳歌されていたね。その後、大学時代はどのように過ごされたのですか？」

【丸】「大学時代は、たくさんアルバイトをしていました。」

【ゆ】「やはりピアノを教えていたのですか？」

【丸】「ピアノは高校生のころから教えていましたが、ほかにもいろいろなアルバイトをしたんですよ。アクセサリ屋さんとか。」

【ゆ】「アクセサリ屋さん! 可愛らしいですね。」

【丸】「あとは、塾の受付、ティッシュ配り、お総菜屋さんなど…」

【ゆ】「お客さんにたくさんお惣菜のおまけとかかされてたのでは？」

【丸】「はかり売りのところだったので、けっこうやってました。それで店長に怒られたりね (笑)」

【ゆ】「(笑) でも、どれも今のピアノ講師という職業と同じ“人と直接関わる”仕事ですね。」

【丸】「そうですね。やっぱり人と話したり接することが好きなので。黙々とデスクに向かう事務作業とかは向いてないかなあ。」

【ゆ】「たしかに、先生のセミナーを聞いていても、ご自身の経験

談を交えたり、受講者の方とコミュニケーションをとりながら進めていかれるので、まるで先生と会話しているみたいな気持ちになります。人を惹きつける話し方のテクニックは、きっとこのアルバイトの経験も生きているのですね!」

～おまけ～

【ゆ】「ちなみに先生、サークルは入っていましたか？」

【丸】「ちょっとだけ阿波踊り研究会に入っていました。」

【ゆ】「!? (笑) なぜ阿波踊り研究会に…？」

【丸】「向こう (徳島県) に行けるのかな～と思って (笑)」

まさかの回答に笑いが止まらない (ゆ) なのでした。

今月のセミナースケジュール

12/10 (木) : [鳥取県/鳥取] アコヤ楽器店

『「譜読み」の基本を身に付けるレッスン』



新企画がスタートです!

リトミック・サークル

Rythmique 1
“リトミック”をご存知ですか?

みなさん、“リトミック”をご存知ですか? リトミックはスイスの音楽教育家であり作曲家であるエミール・ジャック=ダルクローズ (1865～1950) によって考案されました。そのリトミック、今では幼児向けの音楽教育として認知度が高くなりましたが、そもそもは幼児向けではなかったのです!

リトミックは幼児向けじゃなかった!?

リトミックを考案したエミール・ジャック=ダルクローズは、自身が勤める音楽大学の生徒たちの聴覚機能の発達のために、音楽リズムを聴き取り、反応することに慣れさせたことが“リトミック”の始まりであると言っています。つまり、始めは大学生向けだったのです。しかし、リトミックで養われる音楽センスは大きくなってからよりも幼児期の方が身に付きやすいため、様々な改良を経て現在のような幼児向けのリトミックが作られたのです。



リトミックのお話をしてくださるのはこの方!

なな先生

東京音楽大学で声楽科卒業。2009年にリトミックと出会い、リトミック研究センターの教員養成校入学、2014年に指導資格ディプロマAを取得する。現在AnNAリトミック教室の室長として約90人の子ども達を指導。リトミックを卒業した子ども達のピアノの指導も行っている。子ども達の情操を豊かにする教育に力を入れている。

リトミックの目的はどんなこと?

さて、リトミックと聞いてどんなことをするのかすぐにイメージできますか? 例えば、ピアノならピアノを弾き、サッカーならボールを蹴り、水泳なら泳ぎますよね? どれも目的が明確で、より上達するために練習を重ねます。ですがリトミックは目的が一つではありません。例えばうさぎをイメージするような音楽に合わせてピョンピョンとジャンプをさせます。単純な動きですが、リズム感や表現力、想像力を同時に育み、親子やお友達と一緒に体験することでコミュニケーション力や共感性も育むことができます。レッスンでは他にも自分で楽器を鳴らしたり、先生やお友達の演奏を聴いたり、手遊びうたを歌ったりと色々な活動があるので、頭と身体と心を同時に刺激しながらバランス良く子どもの能力を育むことが出来るのです。つまり、リトミックは水泳やサッカーのように練習をして技術を習得することが目的ではなく、動くときや歌うときに伴う心と身体の発達を一番の目的としているのです。

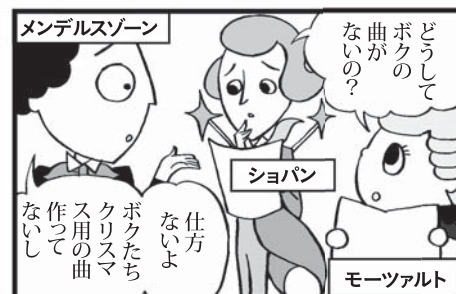
リトミックをひとことで説明することは難しいですが、簡単に言い換えるならば『音楽の力で自由な身体と感じる心を育む教育』といえるでしょう。そして、このリトミックの効果を高めるにはお母さん、お父さんなどの保護者の存在が欠かせません。優しいまなざしやあたたかい腕の中に守られて子ども達はのびのびとリトミックの世界で遊び、そこで自分の色々な面を発見し、向き合い、個性を伸ばしていくのです。親子の絆も深まる素晴らしいリトミックの世界にぜひ一度遊びにいらしてみてくださいね♪



4コマ漫画新連載!!

もうすぐクリスマス

漫画: 東園子



クラシック音楽の超有名作曲家たちが現代の日本・東京にタイムスリップ!? しかもアパートで共同生活!?

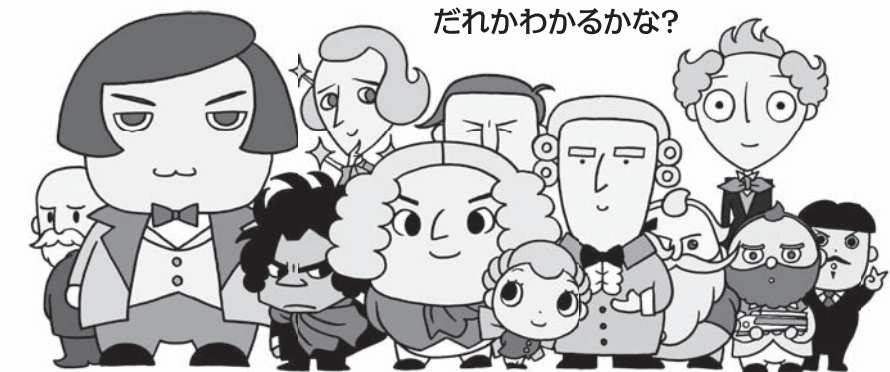
シェアハウス
どれみふあ荘

クラシック音楽の作曲家たちが大活躍!?

バロック、古典、ロマン、近現代…移り行く時代の中で、数々の名曲を書き残したクラシック音楽の作曲家たち。なんと彼らは、ひょんなことから20XX年の日本・東京にタイムスリップしてしまいます。そして、日本では「音楽の父」として敬われているバッハをはじめ、名だたる作曲家たちが縁に囲まれたアパートで共同生活をスタート。日本での生活が気に入ってしまった作曲家たちは、日本の行事に積極的に参加したり、コンサートにでかけたり、はたまた出演してみたり…どんな物語(ドラマ)がはじまるのでしょうか!? 彼らの活躍に、乞うご期待! ※フィクションです

12月号の今回は、クリスマスにちなんだ彼らのエピソードです。次号からは4コマ漫画に加え、登場人物の紹介もはじまります。お楽しみに!

「学研 おんがく.net」でもご紹介しています!
<http://www.gakken.jp/ongaku/>



つむりの練習手帳

つむりは前回、爪を切るのを忘れたままレッスンに行ってしまった。見てみたら、ものすごく伸びていてまるで魔女! これじゃ、ピアノ弾くときにうるさい…それ以前に、どうして生活するのに気持ち悪くなかったのかな。先生も怒るよりもあきれちゃったみたいで、「何て怒られた?」って聞いたのに聞こえないふりをされました。(トホホお兄)

- つむり現在の楽譜
☆ハノン・ピアノ教本
☆ル・クーベ
☆ピアノのアルフアベット
☆フォーレ ドリー組曲 Op.56

編集部チョイスおすすめの1曲

ごんぎつね (ドイツ民謡)
レベル:★★☆☆

右手から左手へメロディーの受け渡し。子どもたちに大人気のこの曲で、ポリフォニーの学習をしてみましょう! (編曲: 伊能美智子)

掲載楽譜→
やさしいポリフォニー1

